

横山幸次

区政報告
ニュース

532

2014年3月30日

発行 日本共産党区議団

3802-4627

fax 3806-9246

e-mail arajcp@tcn-cat

v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

3895-0504

e-mail yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

区政の施策の優先順位が問われました タブレットPC予算は今後も検証が必要...

予算議会は終了したが



教育長に申し入れる共産党区議団

消費税増税にともなう就学援助所得基準緩和、補助品目の拡大と単価引き上げに関する申し入れ
2014年3月19日
荒川区長 西川 太郎 殿
荒川区教育長 高梨 博和 殿
国民の多数の反対がありながらも安倍内閣は消費税8%増税を4月から実施しようとしており、これにともなう、物価上昇と各種サービス等の値上げが予想されています。区が直接、間接的に関わる経費の値上がりも予想され、区議会予算特別委員会でもその対策を求めてきました。特に教育条件への影響を緩和する対策が緊急に求められています。荒川区は、学校給食費の一食当たりの単価引き上げを早速表明しました。区民の増税への不安に応えるために、就学援助の所得基準の緩和と補助品目の拡大と補助単価の引き上げを具体化されることを強く求めるものであります。あわせて、その他各事業における増税による区民生活への影響を明らかにし、除去、緩和する具体的な対策を強く要請します。

給食費		1食現行	1食改定	日額増	月額増
小学校	低学年	219円	225円	6円	100円
	中学年	245円	252円	7円	120円
	高学年	267円	275円	8円	140円
中学生	昼間	300円	309円	9円	160円
	夜間	310円	319円	9円	160円

「献立の内容維持」
会が終了した直後に、区は、議
に「ならない対策を求め
ていました。区は、議
が終了した直後に、議
に「ならない対策を求め
ていました。区は、議



こんな桜の下でお花見ができるのですが、やはりフェンスと土を覆ったシートが無残...



横山幸次

トップダウンによる区政運営の「弊害」が露呈？
区民の暮らしや声に寄り添う姿勢が必要で
新年度予算を審議してきた
荒川区議会第一回定例会議
が、3月17日で終了しました。
この議会で焦点になった予
算内容は、何といても単年
度約8億円、5年間で40億円
近いタブレットパソコンの全
校導入（中学は全生徒貸与、
小学校は全校配備）予算です。
予算委員会の採決では、タブ
レットPC予算に賛成20、反
対10で可決。しかし、推進し
た公明党以外、賛成した自民
党、民主党、一人会派からも

今後、タブレットパソコン
の全校導入の教育効果の検証
とともに、二重支出になるパ
ソコン室1000台以上のリ
ス契約1億6千万円等のムダ
使いが問われます。
共産党が提案した8億円を
給食費・教材教具の無料化、
高齢者福祉予算に振り向ける
提案は残念ながら実現しませ
んでしたが、区民の願いでも
あり、施策の優先順位は高い
と思います。

就学援助の単価引き上げなど増税対策を
区長、教育委員会に緊急申し入れ
横山区議は、予算特別委
員会に「地元業者への影響」など
を指摘して、小中学校の給食費値上
げを発表。こうした事態を受
け共産党区議団は、就学援助
の基準緩和、補助
品目拡大と単価引
き上げを求めて、
区長と教育委員会
に緊急申し入れを
行いました。対応
した教育長は、消
費税増税に見合う
単価の引き上げに
ついては、検討す
ると表明しました。

裏面 荒川区の子どもの貧困対策、尾久の原公園...

定例法律相談会

4月7日(月)
午後6時～8時

横山区議事務所

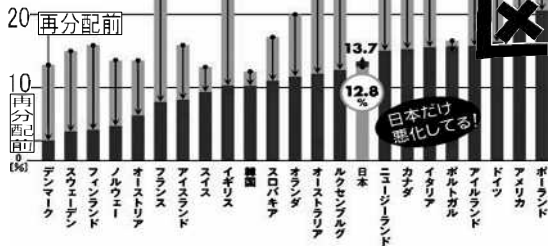
弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

まづの話頭あれこれ
4月1日から尾久の原公園の並木道からトイレまでが開放されます
シタレザクラ祭りも4月5日に開催。一刻も早い全面開放を...
尾久の原公園から基準値を超えたダイオキシンの検出され、閉鎖されてから長い時間が経過しました。やっとダイオキシン類土壌汚染対策地域（裏面）も決まり、今後工事に入っていくところまで来ました。また、舗装面については、現在フェンス工事が行われ4月から通行が可能になるようです（裏面）。これでウォーキングも一周回ることが可能になります。そして中
止されていたシタレザクラ祭りも4月5日、2年ぶりに開催されます。しかしいまだ多くの場所が閉鎖中です。対策地域も決まったわけですから、今後迅速かつ徹底した対策を求めたいと思います。同時に原因の究明も忘れてはいけません。横山幸次

所得の再分配後に
貧困率が悪化する日本！



「子どもの貧困」研究から3年 区の支援策の具体化は…？



	2012年度		2013年度	
	認定数	認定率	認定数	認定率
小学校	2,377	29.3%	2,242	27.4%
中学校	1,350	42.8%	1,308	41.0%

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
全体	239	233	271	346	371	411	460
内荒川区	29	36	32	40	57	69	79

2013年は、2月末の数字です

年度	事業	前年度決算額	当年度決算額	
2011年度	子ども家庭支援センター相談体制強化	充実	2,575	4,442
	DV被害者の支援者養成講座	新規	—	87
	児童相談所への職員派遣	新規	—	—
2012年度	学習支援事業	新規	—	3,012
	家庭支援事業	充実	4	1,284
	保育園における早期発見体制(退職保育士配置)	—	—	—
2013年度	タブレットPCを活用した学校教育の充実	新規	—	50,430
	若年者就労支援の拡充	充実	7,756	9,610
2014年度	タブレットPCを活用した学校教育の充実で新たに、7億3500万円余を計上...			

区として「子どもの貧困実態」の系統的把握と「貧困の連鎖を断ち切る緊急対策と中長期計画」を2010年荒川区が「子ども

の貧困、社会的排除問題」研究を行いました。その後どう生かされてきたのでしょうか。

日本の子どもの貧困率は、2009年15.7%、6人に1人、現在も増加しています。

荒川区の現状はどうでしょうか。区の就学援助(生活保護基準の1.2倍)受給者は、小学3割、中学4割あたりで推移。

その内、生活保護世帯の児童生徒数は、増加しています。また児童虐待受理事件数も近年増加し続けています。大変きびしい状況といえます。

せっかく研究を始めたわけで、区内の子どもの現状に継続的に把握し、貧困の連鎖を断ち切るための緊急的対応と

中長期の方策を持つべきです。区は、区長を本部長に、子どもの貧困対策本部を立ち上げました。しかし実際の子どもの貧困対策で新規、充実した対策は、ごくわずかでした。そこに今回「子どもの貧困対策」の最大の目玉として出てきたのが年間8億円のタブレット導入です。

教育というなら、少人数学級、義務教育の公費負担拡大、進学への支援強化など多面的な検討が必要だと思っております。みなさんのご意見をお寄せください。

特集…尾久の原公園の今後

尾久の原公園の開放地域が広がります

この4月から尾久の原公園の舗装された通路がすべて開放されます。以前からの強い要望でやっと実現します。開放されるのは、下の地図の黒太線の部分(網掛け部分は閉鎖地域)です。今後対策工事が始まると閉鎖されることになります。



尾久の原公園、運動場のダイオキシン対策地域が決定 速やかな対策工事の実施と原因究明を求めています

東京都は、3月に入って、尾久の原公園と東尾久運動場などのダイオキシン類土壌汚染対策地域を指定について知事名で告示しました(下図参照)。

今後、対策内容が検討され、工事に入っていくはずですが、一刻も早い対応を求めたいと思います。

その際、徹底した安全面での対応が必要です。また、災害時の広域避難場所でもあり、その面での対応も必要です。

同時に忘れてはならないことは、今回の土壌汚染の原因究明です。東京都が管理者として原因を明らかにすることは当然のことです。



対策地域は、網掛けの枠内です。

